



# 集落支援だより

地域おこし協力隊の小松です。

寒かった冬も終わり、春を感じる季節となりました。

今月は、2月に行われた主な活動についてお知らせします。



地域おこし協力隊 集落支援担当  
小松 慎吾 隊員

## 医大生が 奥川にきました

去る2月12日～13日、事務局として活動している奥川地域づくり協議会は、地域包括ケア研究所の協力のもと、複数大学の医学生を対象とした地域研修を実施しました。

参加した学生は、住民主体の健康づくり活動「さすけねえ輪」や地域づくり活動の現場に触れ、健康が「からだ」だ

けでなく「こころ」や「つながり」によって支えられていることを学びました。また、住民との交流や体験を通じて、地域で暮らすことや地域医療の意義などの理解を深める機会となりました。

同日は、偶然西会津町に来ていた、千葉県看護学校に通う学生と夕食を共にし、同じ医療の道を歩く者同士、大変盛り上がった会食となりました。



▲医大生と看護学生の皆さんと「さすけねえ輪」

## 雪国体験事業

2月21日～22日、福島大学行政政策学類・岩崎ゼミの学生を対象に、冬季の地域資源を活用した「雪国体験事業」を実施しました。当日は、積雪不足により内容を一部変更しての実施となりましたが、学生たちは、有害鳥獣対策担当者によるジビエや地域資源循環について学びました。



また、杓と臼を使った昔ながらの餅つき体験なども行い、地域の暮らしや資源活用の知恵に触れ、雪国の生活文化や自然との関わりについて理解を深め、地域の魅力を体感したようでした。私たちが集落支援担当の地域おこし協力隊員にとっても「雪がなくても雪国体験の提供できる」という成功体験にもなり、今後の活動に向けて大きな自信となりました。

## 2年目が 始まりました

地域おこし協力隊として2年目を迎えました。思っていた仕事とは違う領域に向き合う日々ですが、気づけば営業マン時代の経験を総動員して走り回っています。

長女は高校へ、四女は小学校へ。小松家もまた新しい生活のスタートです。家族とともに成長しながら、これからも西会津町の皆さんと歩んでいきたいらと思えます。

